

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月11日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170100812		
法人名	株式会社 ゆずり葉宮の森		
事業所名	グループホーム ゆずり葉宮の森		
所在地	北海道札幌市中央区宮の森2条5丁目2番27号 (電話) 011-613-0080		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月10日	評価確定日	平成20年3月14日

## 【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年12月20日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	25人	常勤	18人, 非常勤 7人, 常勤換算 22人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋耐火構造 造り		
	3階建ての 1~3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000円	その他の経費(月額)	19,500~23,500円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	26名	男性	1名	女性	25名
要介護1	5名	要介護2	9名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	2名		
年齢	平均 81.9歳	最低	70歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人三草会 クラーク病院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鉄筋耐火構造3階建ての3ユニットのグループホームで、公園や閑静な住宅街に囲まれ、地下鉄駅や病院、スーパー、公共施設が立ち並ぶ恵まれた環境の中にあります。同一敷地内には、「宮の森保育園」があり、卒園式やお誕生会、相互訪問など日常的に園児との交流が行われ、保育園との合同の「夏祭り」では、地域の住民や園児の家族、利用者やその家族が参加して、盛大に行われて地域との交流やホーム機能の地域への還元も行われていると共に認知症に対する理解や啓発にも取り組まれています。また、絵手紙の先生を定期的にホームに招き、利用者・職員と作品を創作して利用者の思いや意向を尊重した、趣味への支援などにも取り組まれています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、定期的な火災避難訓練の実施があげられていました。消防署の協力のもと全ての職員が参加した火災避難訓練と救急救命訓練が定期的の実施され、緊急時に速やかに対応できるように取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ホーム長及び管理者は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、各階のリーダー及び管理者で協議され、全ての職員に報告されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され評価を活かして具体的な改善に取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在5回実施されています。その議題については 外部評価結果の改善状況について 施設見学による意見交換 「認知症介護セミナー2007」の研究発表 行事予定について 次回開催の運営推進会議について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の来訪時に日常の暮らしぶりや生活の様子を伝え希望や要望など意見交換されたり、状態変化時には、随時報告され不安への対応が行われています。また、玄関入り口に苦情受付箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。金銭管理については、金銭出納帳を毎月家族に送付して報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム1階には、児童育成会が併設されて、日常的に子供達が訪問してきたり、利用者が訪問して交流が積極的に行われています。また、保育園園児との相互訪問も行われ日常生活を通じて、交流が促進されています。小学校とも毎週交流の機会が持たれて、利用者が地域の一員として地域の人々と交流することに努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして「ゆっくり、楽しく、豊かに」のホーム独自の理念をつくりあげ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム長、管理者と職員は、理念をミーティングなどを通じて共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム1階には、児童育成会が併設されて、日常的に子供達が訪問して来たり、利用者が訪問して交流が積極的に行われています。また、保育園園児との相互訪問も行われ日常生活を通じて、交流が促進されています。		今後は、毎月発行されている「ゆずり葉たより」を地域に回覧し、ホームの活動や認知症に対する理解や啓発に繋げるように計画されています。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム長及び管理者は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、各階のリーダー及び管理者で協議され、全ての職員に報告されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され評価を活かして具体的な改善に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在5回開催されている。委員は、利用者家族、町内会役員、包括支援センター、民生委員、保育園園長、保育園主任、ホーム長、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、さらにホームの活動の実際やAED・救急救命訓練など委員にも体験を通じた意見の具申を得るなどの検討がされている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性については十分理解し、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、感染症対策講座の実施など市、包括支援センターと協働した取り組みでサービスの質の向上に取り組む計画がされている。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時に日常の暮らしぶりや生活の様子を伝え希望や要望など意見交換されたり、状態変化時には、随時報告され不安への対応が行われている。また、毎月「ゆずり葉 たより」が発行されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口に苦情受付箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。金銭管理については、金銭出納帳を毎月家族に送付して報告されています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホーム長、管理者は、離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、職員の定着率は安定している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月開催されるカンファレンスで内部研修が行われたり、グループホーム協議会やシルバーサービス振興会主催の外部研修に参加するなど、職員の研修の機会が確保され、実施されている。また、職員のスキルアップのための資格取得を奨励して支援されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や近隣の同業者との交流で、意見交換が行われ、サービスの質を向上させる取り組みが行われている。		今後は、他同業者との相互訪問などの機会の確保を期待します。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの思いや意向を把握する取り組みやセンター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握するなど、本人と共に支えあう関係構築に努力している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや意向の把握に取り組み、絵手紙や調理の準備、習字などの趣味への支援、保育園児との交流会への参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的にしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>個別の期間毎の評価や介護支援専門員が中心となって2週に一度のカンファレンスを実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、往診や訪問美容など利用できるように柔軟な支援をしている。また、動物園見学や北海道神宮参拝、野外でのヤキソバパーティーなど気分転換の機会も用意されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る訪問診療での主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、接遇について研修会で共通認識を持つように今後検討されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望や思いを把握して、料理の準備や洗濯物たたみ、散歩や買物など持続可能な生活を送れるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、料理の準備や盛り付け、後片付け等職員と利用者が一緒になって行っている。また、職員も一緒に和やかに食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ゆっくりと入浴が楽しめるように入浴日は決めずに本人の希望やタイミングに応じて週2~3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、絵手紙やお茶だし、洗濯物干し・たたみ、調理の準備など「本人ができること」への生活の支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、動物園見学や親子遠足、北海道神宮参拝、保育園児や小学生との交流、夏祭りへの参加、野外での昼食など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、センサーの設置で外出が察知できるように取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に速やかに対応ができるように消防署の協力を得て、火災避難訓練や救急救命講習をすべての職員が参加して実施されている。		今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう運営推進会議で働きかけを行う計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事や水分の摂取量、体重、栄養バランスなどが把握され個々の利用者に応じた支援がされている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	札幌市の中心部であるが、全体的に広くゆったりした廊下や居間では、採光が採り入れられ明るく清潔感が漂っている。また、利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。共用空間の壁には、利用者の手作りの絵手紙の作品や写真が飾られていたり、観葉植物も随所に配置され、利用者が丁寧に育て楽しみごとにもなっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、家族の写真や観葉植物が飾られたり、箆笥や椅子、ソファなどの使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。